

# 組合員さんを訪ねて。

## 株式会社和泉冷凍運輸(滋賀地域)

今回は、滋賀地域の株和泉冷凍運輸をお訪ねして吉川 康徳社長にお話を伺いました。

同社は、東は名古屋から、西は近畿一円をエリアとして、鮮魚、青果、食品、乳製品などのほか、温度管理が厳しく求められる液晶パネル用の液体など工業製品を搬送されています。また、琵琶湖でとれたアユをその日の昼に協力会社に受け渡して全国の市場に届ける仕事もされています。その業態から、365日24時間シフトを組んで稼働されておられるとのことでした。

社長は、滋賀県トラック協会の青年部役員や支部の専門委員も担われるバイタリティあふれる方で、自信を持って事業を進めておられる姿勢を頼もしく感じました。

### 会社概要

創業：昭和56年 本社：滋賀県守山市  
従業員数：約20名



インタビューの内容は次の通りです。

### 1 いつ頃からこの仕事をされていますか？

私自身は21才でトラックを購入して事業を始めたのですが、当社の前身にあたる運送会社の社長が死亡され廃業しようと考えていたとき、その会社を譲り受けて、別途運送業をしていた父が社長になり現社名に名義を変えました。その後、13年前に私が社長に就任し、今に至っています。

### 2 日頃心掛けておられることは何ですか？

事業においては、温度管理に非常に注意しています。いままではトラックの冷凍機の設定温度を決めてやってきたわけですが、設定温度の正しさをどうやって証明できるかというISOの要求事項があり、お客様から要求があればすぐ提出できるように、様々な設備投資や努力をしています。

モットーを一言でいえば「安心安全に配送す



吉川 康徳 社長

ること」につきますが、お客様に安心して提供できるように品質をあげる努力をしております。

そのために、毎月全体会議を定例で開催し、年間12項目の要求事項を網羅しながら、冷凍冷蔵輸送に関係することを検討し、研修にも入れています。温度管理はもちろん、車のトラブルや事故、遅延も品質と考えています。管理者会議の定例化により、管理者の中で品質に対する意識が根付き、同じ方向を向くようになってきました。「継続は力」だと思います。

### 3 事故防止の取組みについてお聞かせください。

先に述べたことが、事故の減少にもつながっているのではないかと思います。当社では、車速を決めて、速度表示をトラックに貼って走行するようにしてから事故が格段に減ってきました。協力会社の方から「お宅の車は速度を守って安全運転で走っていますね」と電話があったりすると、ドライバーを褒めています。

### 4 社長のご趣味や余暇の過ごし方についてお聞かせください。

趣味はツーリングです。滋賀県トラック協会の仲間10数名でツーリングクラブを作っています。また、一人であてもなくぶらりと走って行くのも好きで、オフにできる時間となっています。昔はトラック野郎でしたが、今はバイクです。

### 5 当組合に対してご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。

近畿共済に加入させてもらって、事務所の職員の皆さんから親切に相談に乗ってもらい、大変お世話になっています。

これからもよろしくお願いたします。